

こらぼ大森・地域イベント掲示板

NPO・区民活動フォーラム

～楽しみながら地域活動を見てみよう～

日時：1月27日（土）、28日（日）

10時～15時30分

会場：大田区立消費者生活センター1階・2階

内容：さまざまなジャンルの区民活動団体による、体験ワークショップ、ショー、模擬店など、子どもから大人まで楽しめるコラボイベントが盛りだくさんです。

主催：大田区

お問い合わせ

地域力推進課 区民協働担当 03-5744-1204



NPO法改正早わかりセミナー

～今から準備すれば、間に合う！～

特定非営利活動促進法の改正ポイントを
定款変更の有無や時期等について学びます

日時：12月6日（水）14時～16時

会場：パシオン TOKYO

大森北 2-3-15 第15下川ビル4階

定員：15名（先着順）

参加費：おひとり 2,000円

講師：藤岡 喜美子さん（NPO法人市民フォーラム
ム21・NPOセンター事務局長、パシオン TOKYO
インキュベーションマネージャー）

申し込み先：パシオン TOKYOまで
メール) info@passion-tokyo.com

FAX) 03-6423-1841

問合せ：03-6423-1840（パシオン TOKYO）

主催：NPO 法人男女共同参画おた

共催：NPO 法人大森コラボレーション

こらぼ大森 書初め会

～新年の想いをしたためます～

日時：1月9日（火）10:00～15:00

会場：こらぼ大森 多目的室

参加費：100円（用具は主催側で用意をします）

講師：和田 蘭寿 さん

◆書初め展◆

日時：1月10日（水）～18日（木）10:00～16:00

会場：こらぼ大森 1階 軽食コーナー

主催：NPO 法人大森コラボレーション

問合せ/電話・FAX：03-5753-7884



歳末の夜廻り活動

拍子木（ひょうしぎ）の音が、町に響く季節となりました。各自治会・町会の取り組みで、防犯及び防火のための夜廻りが実施されています。

歳末の忙しい季節ですが、

火の元には用心を。

よいお年をお迎えください。

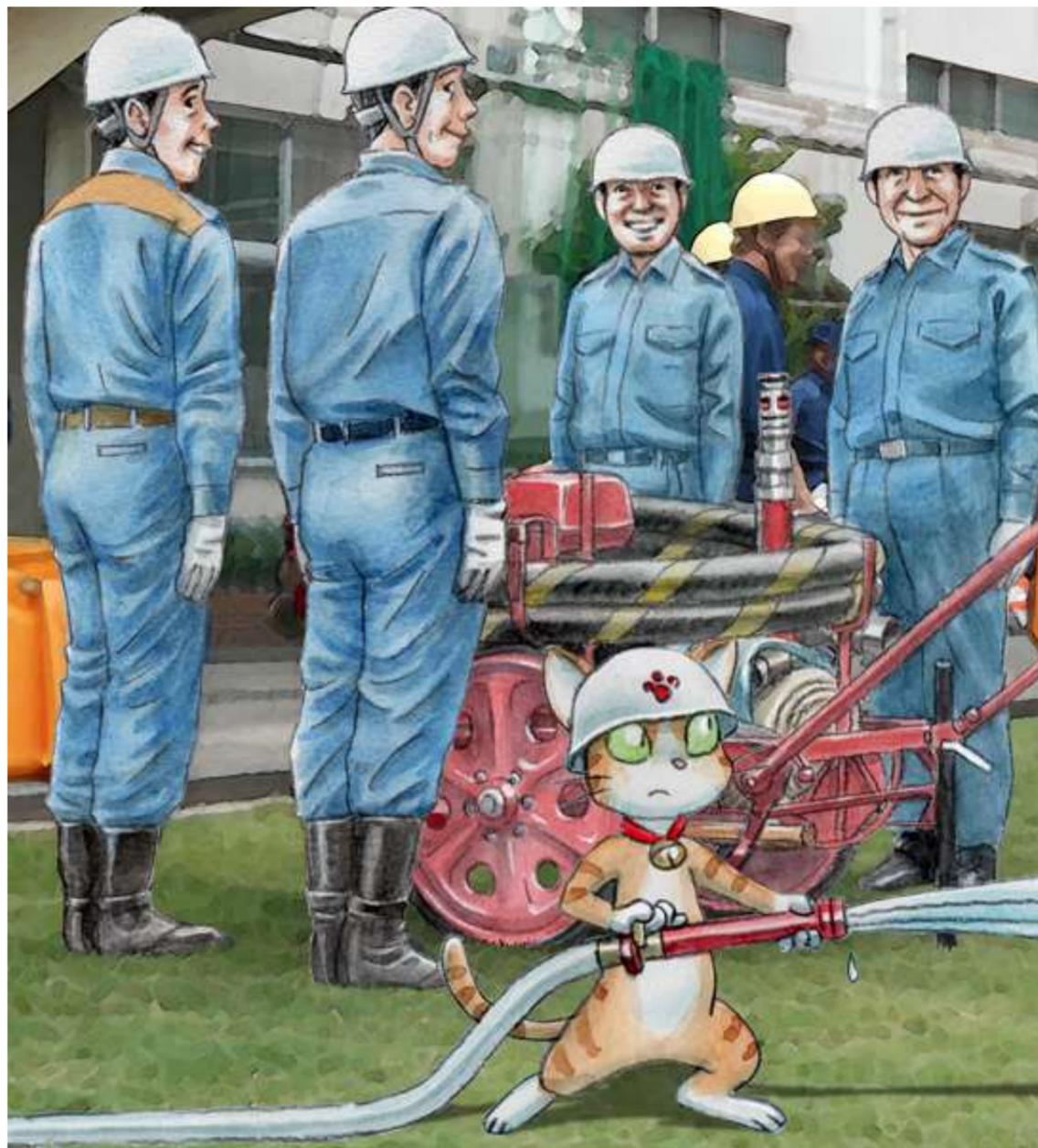


こらぼ

大森ニュース 第27号

2017年12月1日 発行

- 師走の街 力を合わせて 火の用心
- 共助で高める地域防災力 市民消火隊の活動について
- 樹名板づくり実施のご報告
- 図書コーナーのご紹介
- こらぼ大森・地域イベント掲示板



師走の街 力を合わせて 火の用心

外は北風が吹いて、家の中ではストーブや炬燵を囲む季節になりました。童謡や物語にある焚き火や囲炉裏は見かけることがなくなりましたが、火の用心の夜廻りは今も変わらない冬の風物詩です。

一年の中でも特に催事の多いこの季節、くれぐれも火事には気をつけましょう。

イラストは9月にこらぼ大森で実施された、市民消火隊による訓練の様子です。本号では、市民消火隊のご紹介もしています。

発行：こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX：03-5753-6560

E-mail：c b c 10286@nifty.com

URL：http://collabo-ohmori.com/

住所：大田区大森西 2-16-2

大田区区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

Let's こらぼ



関東大震災から94年を経過し、いつ大規模地震が発生してもおかしくないとわれて久しいところです。また、今秋は2週連続の台風にも見舞われ、自然災害の恐ろしさとその対策をお考えになった方も多いかと思えます。本号では地域の共助として位置づけられる市民消火隊についてレポートします。

共助で高める地域防災力 市民消火隊の活動について

大田区では、国の防災基本計画、東京都の地域防災計画を踏まえ、東京湾に面していること、木造住宅密集地域が多いことなどのリスクを考慮し、大田区地域防災計画を策定しています。なお、本計画は、状況変化や実災害での教訓等を踏まえ必要に応じ修正し、直近では平成28年に修正しています。その基本的な考え方として、区民と地域が自らの責任で行う「自助」「共助」と、防災力強化に責任を持って取り組む「公助」の連携と協働によって、地域力を結集し総合防災力を高めることとしています。

大田区のような都市部では、発災時にいかに速やかに消火活動を行えるかが、地域の被害軽減を図るうえで重要とされています。それを担うひとつとして、機動性ある小型消防ポンプでの消火活動が期待されています。自治会・町会活動が盛んな大田区では、区内に217ある自治会・町会中に215の防災市民組織があり、その中に149の市民消火隊があります。なお、大森西地区では、21ある自治会・町会すべてに防災市民組織があり、17の市民消火隊があります。



市民消火隊は、東京消防庁が主管となり、都内の自治会・町会で結成をはかった昭和48年に由来します。その後、基礎自治体に移管され、「自分のまちは自分たちで守る」という理念のもと運用されています。消防団のように災害現場への出動命令があるわけではなく、あくまでボランティア精神に則った活動をしています。

いつ起きるかわからない災害時に活動できるようにポンプ操法訓練を自主的に行い、いざという時に備えています。ポンプ操法発表会という日ごろの訓練成果を披露する場もあります。直近では9月にこらぼ大森において沢田四町会合同防災訓練が開催されました。

地域のお祭りでは警備など縁の下の力持ちとして、力を発揮しています。ただ、近年隊員の高齢化が進み、指導者も含む隊員の不足という問題をかかえる地域が増えているようです。

災害時には、近隣の方との協力や支えあいが必要と求められます。「自分のまちは自分たちで守る」という理念を掲げる市民消火隊は、自助と共助をさらに結び、日頃の地域の関係づくりにも寄与しています。そのような役割には、地域の防災意識の高まりとともに、さらに関心が集まりそうです。

協力：大田区大森西特別出張所 文責：編集部

樹名板づくり実施のご報告

こらぼ大森には、60種類・大小100本以上の樹木があります。旧大森第六小学校時代に、取り付けを行った樹名板は傷んできたので、一昨年からの協働講座の一環として、地域の皆さんと新しい樹名板の制作に取り組んでいます。

今年も「こらぼの木に名札をプレゼント」と題し、10月28日に制作を行いました。台風の影響で、実際の取り付けは別日に行いました。体育館棟道路沿いの樹々を中心に取り付けを行いました。歩道からもよくご覧いただけます。



図書コーナーのご紹介



こらぼニュース「こんな本あんな本」のコーナーで定期的にご紹介している情報交流室Iの書籍ですが、今年度も新しく20冊の本が追加されました。社会課題としてクローズアップされていることや区民活動団体の運営に役立つものなど、スタッフが頭を悩ませつつ選んだ、おすすめできる1冊ばかりです。ご希望の方には一人3冊まで1ヶ月お貸出しをしております。初めてご利用になる方は、運転免許証等のご住所のわかるものをお持ちください。

区民活動のヒントや社会課題を考えるきっかけとなる本が250冊以上ございますので、どうぞご利用ください。以下、新規購入した書籍の一部をご紹介します。

書名	著者	出版社
反貧困のソーシャルワーク実践 —NPO「ほっとポット」の挑戦(テーマ型)	藤田孝典	明石書店
なんとかする 子どもの貧困	湯浅誠	角川新書
会社の中の発達障害	星野仁彦	集英社
人口減少×デザイン 地域と日本の大問題をデータとデザイン思考考える	笥裕介	英治出版
部活動の不思議を語り合おう	長沼豊	ひつじ書房
クレーム対応の教科書	援川聰	ダイヤモンド社
社会貢献でメシを食う	竹井善昭	ダイヤモンド社
「社会を変える」を仕事にする	駒崎弘樹	英治出版
NPOのためのIT活用講座 効果が上がる情報発信術	久米信行	学芸出版社
伝わる! 文章力が身につく本 (基礎からわかる“伝わる!”シリーズ)	小笠原信之	高橋書店
ソーシャルインパクト —価値共創(CSV)が企業・ビジネス・働き方を変える	玉村雅俊	産学社
ソーシャルデザイン実践ガイド	笥裕介	英治出版
稼ぐNPO~利益を上げて社会的使命へ突き進む	藤岡喜美子	カナリア書房